



渡りの花嫁は
呪いを受ける

はな「花」異界から齎される力の源。
特にこちらの世界の生き物と習になった
者を称する。
また、魔力を持たない花は
無尽蔵に力を与えるたの時に
涙りの花嫁と称する

ふつ

58

1154

54

54

あつ

11/20

7

70

た"く た"く た"く

5
5
4
30

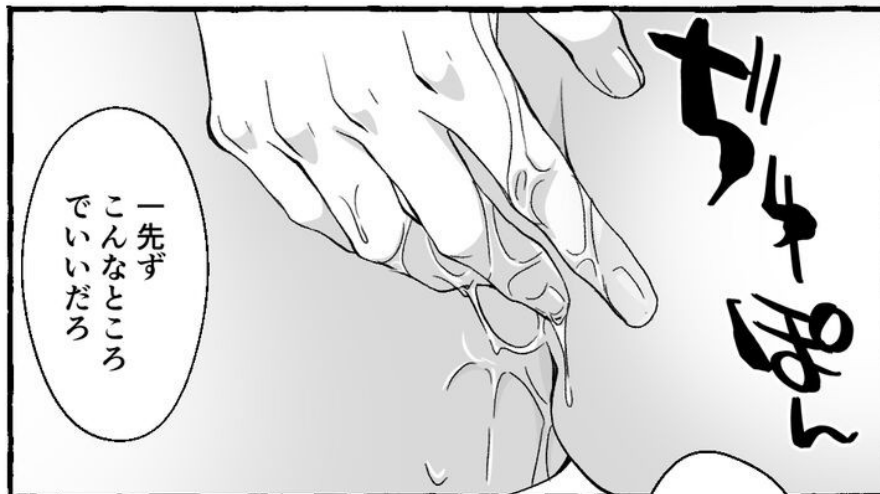
5/11/13

54

子

あと一回……

あと一回……



何でこんなことに
なったんだっけ...?



ね、
どうかな？

いーんじゃね？
お前は
何でも
似合う
似合う

あのさ
この後

あ

……りごと

あー

わりー
この後
仕事だからさ

お！……

え

お前と違って
責任ある仕事
してっから

あ
飯だけ
作っ
といてー

結婚しようって
言ってくれた時は
あんなに優しくったのに

今じゃもう
人が変わったかの
ような塩対応……

わかった
……



聞こえてくるのは
困惑しきった声だった

そんな感じで
見知らぬ場所に
投げ出されたものの

偉人たちの
話し合いの結果

あれよあれよと
身体を
磨き上げられ

再びドレスを
着せられた上に、
見知らぬ
アクセサリーを
付けられると…





色々と疑問は
ございましょうが

全て
お済になれば
殿下より
詳しい説明が
為されます

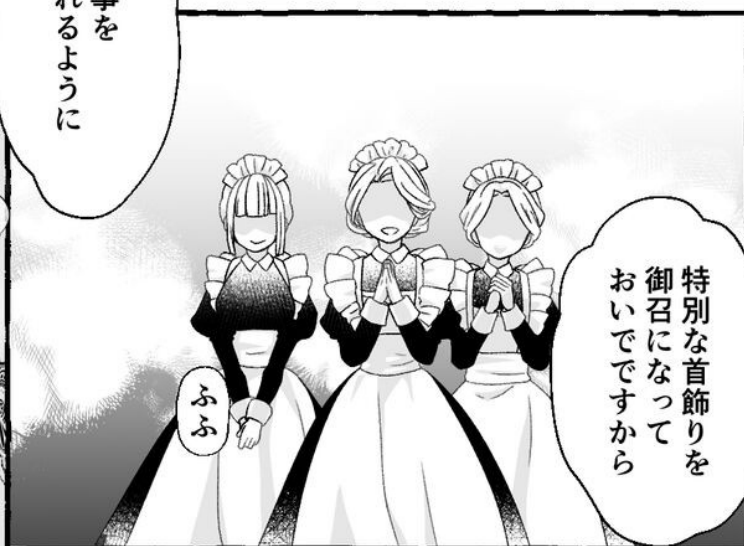


そろそろ効果も
表れて
きているのでは？

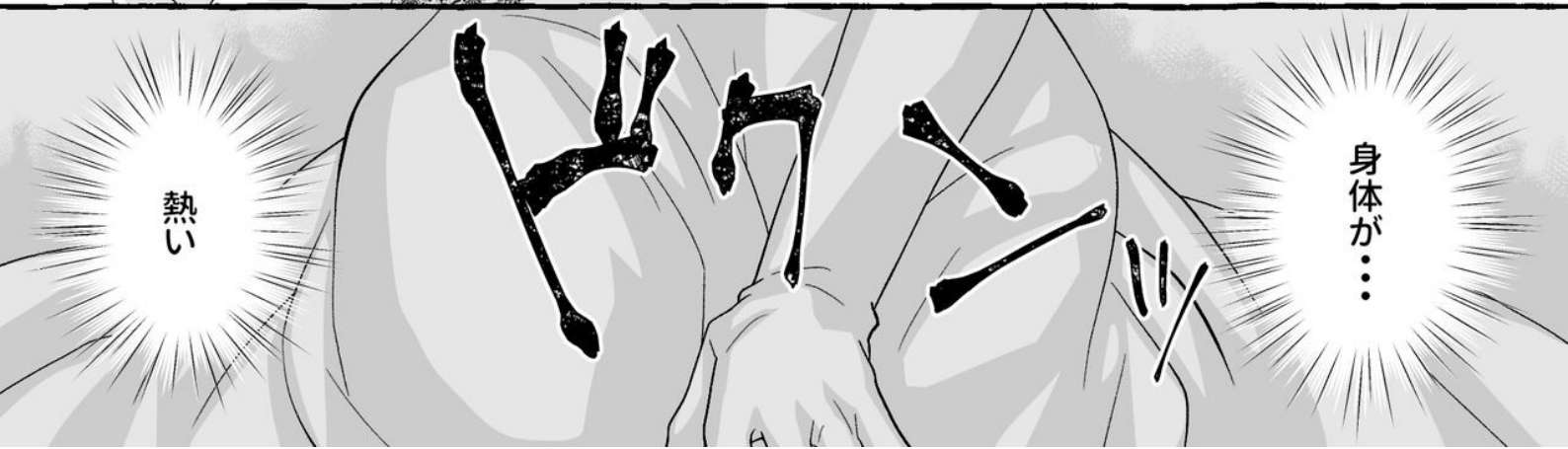


ご安心
くださいませ！

恙なく事を
終えられるように



特別な首飾りを
御召になって
おいでですから



熱い

身体が…

心配は
なさらないで
結構ですよ

少しばかり
身体と気持ち
が緩んで
火照ってしまう
だけですわ



あと数分で
いらっしゃいますので
ベッドに横になって
お待ちくださいませ

首飾りはくれぐれも
お外しにならないで
くださいませね！
恐ろしいこと
になりかねません…

頭がぼーっとする…
まともに考えられなく
なってきた…？



首飾りの所為で…
意味わかんないよ

外したら
恐ろしいことって
何か起きるの？

ああダメだ
頭が全然働いて
くれない

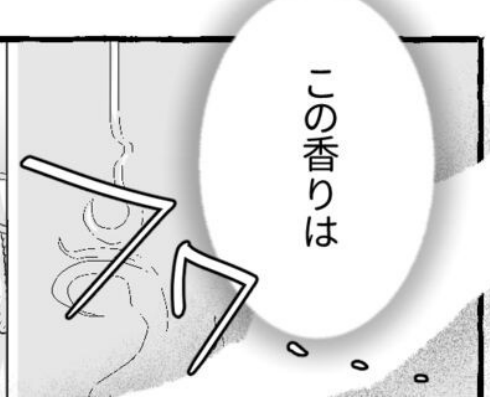
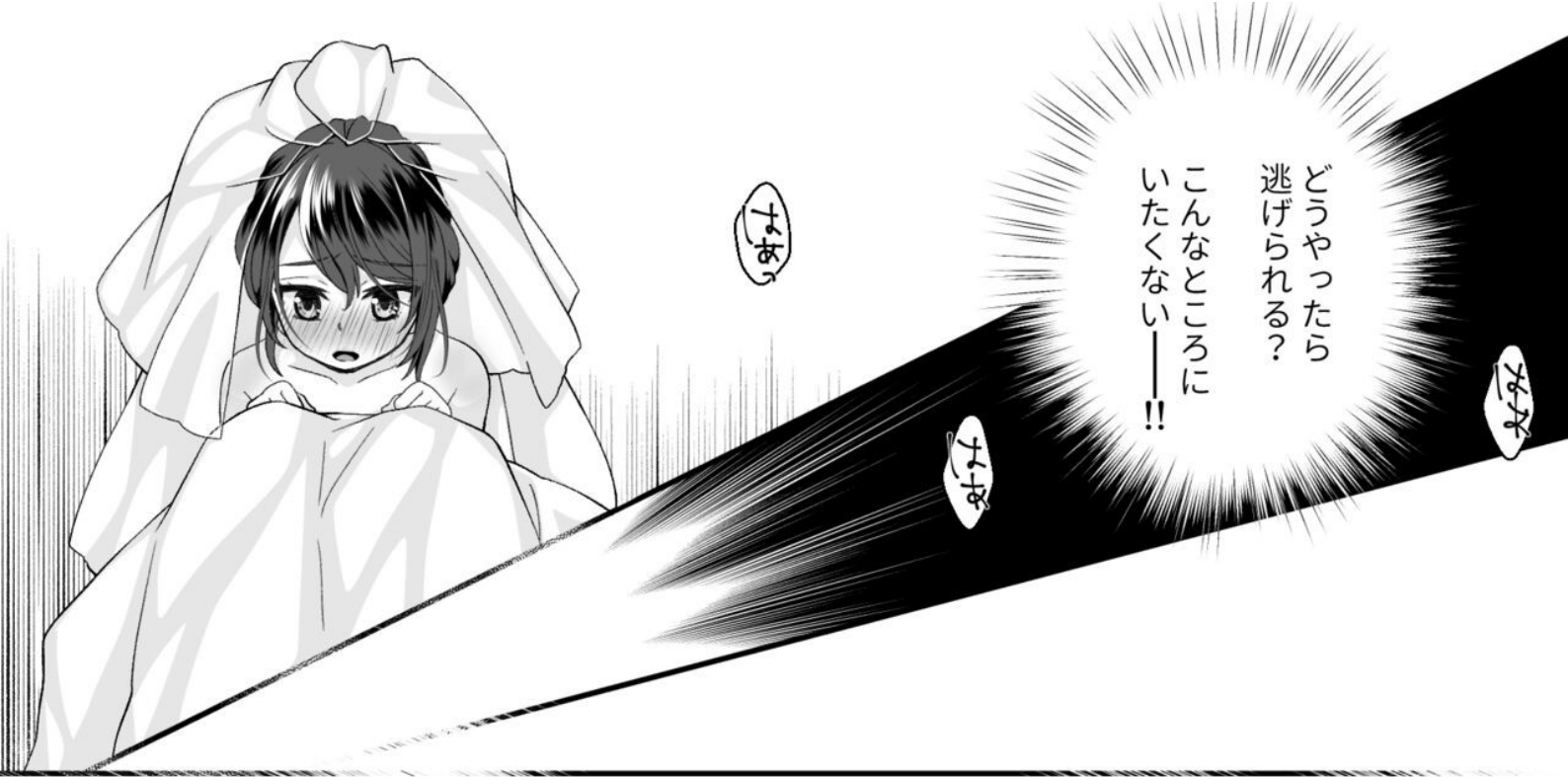
彼のために選んだ
ドレスを着て
他の誰かに抱かれる…？

……さすがに冗談じゃない！

聞かされた王子の話は
ほぼほぼ女誑しの
爛れエピソードだよ？

このままじゃ
本当においしく
いただかれちゃう
かも……





まずいな

来るのが
遅かった
みたいだ

この香気…
この子は
僕の花かも
しれない

渡って
しまうなんて…

ええ？

大変!!

そんな：あの方は
花酔いの女神の
祝福を身につけられて
いるのです…!

うわあ
かわいそうに…

見知らぬ土地で
発情しちゃって
るのか…

迎えに行くまで
無事だと
いいんだけど…

はあ

はー

わたし…
一体何して
るんだろ？

何でいきなり
森の中に…？



そんな香りを
纏わせて…

一体どこから
忍び込んだんだ？



オイ

こんな
満月の夜に
無粋
極まりないな



だれ？

ほう…

この香り—

商売女かと
思ったが…

何？

何を
言ってるの？

渡り人か

いいだろう…
興が乗った

何でだろう？

—来い

抵抗する気すら
起きない

そんな酔狂な格好で
わざわざ
俺の領域に
入り込むとはな





わたしの身体へんになっちゃったあ…っ
気持ちいいなんて
おかしいよあ

うああっ
何でこんな



ドレスの祝福が
明後日の方向に
行ってんな…

ほら

おちつけ

異界から来たんだろ？
分らないことは
教えてやるから

境界を越え
この世界に
呼ばれた人間は
それ故に世界に基づく
基盤がない

その為に世界との
繋がりを求めているのか
意図せずとも
転移を繰り返してしまう…
それゆえに
渡り人と呼ばれる――

んで
手っ取り早く
渡り人と世界を
結ぶ行為が

この世界の
存在と身体を
繋げること

まあ、精気や
体液の交換でも
構わないわけだ

こんな風にな



通常なら
一晩で効果が
切れるが

魔無しは
条件が異なる

祝福が解けるまで
お前の身体は
毎夜発情を
繰り返すし…

中でいくまで
治まることはない







じゃあ…
そろそろ始めるか

…まって
ホントに待って—

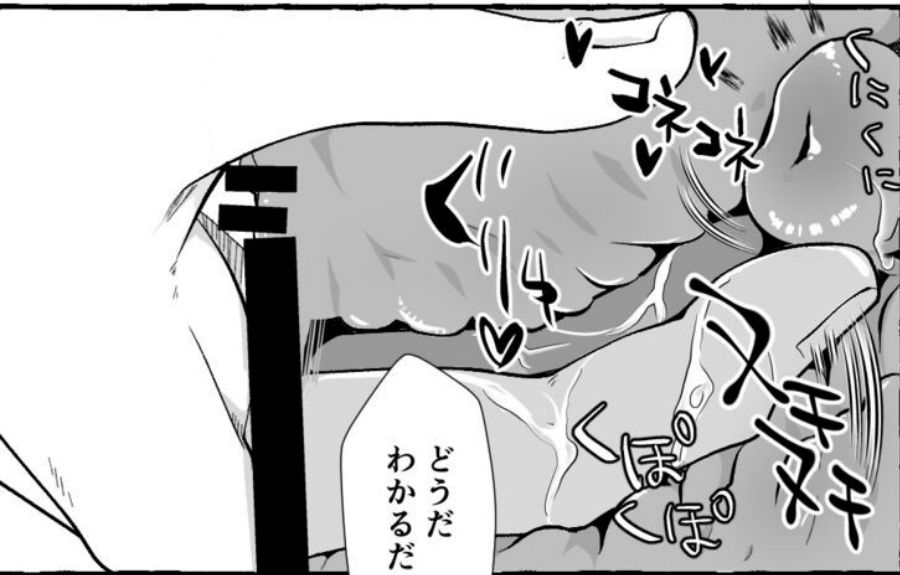
始めるって

—今までののは—

〜…



はは：
そろそろ仕上げで
良さそうだな？



どうだ
わかるだろ



お前の身体も随分
喜んで…
子宮も子種欲しさに
下りてきているぞ

こうして外からも
刺激してやれば…

くら



ビクビク

はい

あー

ほら、気持ちいいなあ

熱が腹に集まってる？

はい

うあっ

グニッグニッ

やだあ...っ

気持ちいいなあ
もういけるだろ

あぁ...っ
これダメ...!!

グニッ

グニッ





昨夜のことは
覚えてるのか？



最初から
なのか……



今日は
足りていなかった
説明を補おう

知りたいこと
聞きたいことは
あるか？

あの！

そもそもここは
何処なんでしょう

そうだな…
まずは渡り人が
聞いておくべき
基本的な事から
始めるか――

この世界は
五柱の神々と
あまたの精霊達が
創造した世界で…

当然世界は
神々の力や
精霊の司る自然力、
あらゆる魔素で
満ちている――

で、
稀に神々の力の
均衡が崩れるん
だが…

その時に
異界から贅を
呼び込むんだ

贅!?

は
はい

ああ――

そんな表情を
するな…

お前は別件とみて
間違いないだろう

俺たち魔族や
竜族……

まどくっ！

まどくっ！

人間でも
王族なんかは
異界の要素を求めて
召喚を——
花乞いを行うんだ



えっ

わたしが最初に落ちた場所では
歓迎というより……
困惑を感じたのに……



俺たちの世界では
力を与えてくれる
番を花と呼ぶ——
異界から来た者は
須らく強い力を
齎す花だ

花酔いの首飾り……
お前が昨夜
身に着けていた
アレには——

……そうだな、
性交渉を容易に
する祝福が
込められている
ありやもう呪いだがな……

でもっ

昨日の内に辿ったが
お前がここに
『渡る』前にいたのは
そこそこの大国だ

だというのに
調べたところ
お前を呼んだ
召喚主は
別にいるようだ……



そういえば……

何か
心当たりは
ないか？



足元で何かが
光ったと思ったら
どこからか
声が聞こえてきて――

それで――…

ま、無理して
直ぐに思い出す
必要もない

暫くはここで
面倒見てやるよ

簡単なことだ

あの

何でそんなに
親身になって
くれるんですか？

お前たち
渡り人は

俺達のような
ものには
存在そのものが
「祝福」だ――

わたしが？

言っただろう？
異界の花は
稀有な力を
与えてくれる――

花が与える力は
花自身の魔力が
弱ければ弱いほど
力を増す――

魔無しともなれば
言うまでもないだろ？

だから魔無しの
渡り人は
特に『渡りの花嫁』
と呼ぶんだ

それに……
美味しいんだよ

花は一種の
嗜好品ですら
あり得る

その魂……
香気も肉体も
体液さえ甘露だ

そこに存在
するだけで
十分な価値が
あると
いうもの……

むしろ此方が
得る物の方が
多いくらいだ

！



魔無しってのは
お前のような
魔力を全く
宿していない
人間のことだ

強い力を
そのまま注げば
器に収まらない

だからこうして
少しづつ慣らす

ふあ

よろしく
お願いしまふ…

わ
わかり、
まし…た

はな

はな

この意外と優しい魔族
ヴァレールとの
打算まみれの生活は
比較的穏やかに過ぎていった

そろそろ
良さそうだな

一日一回のキスと
時々行う
もう少し深い行為——…

そして——

えっと…

ヴァル？
良さそうって…
何かあったっけ

刺繍はまだ
かかるよ？

準備が
できたんだよ

準備？

イチカに
ブチ込む準備

大分馴染ませた
からな…
もういいだろう

うう

はっ

爆散しません？

今夜だ
用意しとけよ

しないな

これで——
ここにいて
理由になる？
ここにいても
許される？

カアア

チキーン

とうとう
かあー！

恋人でも
ないのに……
本当に迷惑
かけっぱなし
だよ……
このまま進んで
いいのかな……？

チキーン

わたし——
自分が何者なのかも
わからないのに

それじゃ
契約に移るぞ

はい

まずは
名前からだな

名前……

あれ？

自分の
名字——

家族や友人の
顔と名前……

そして婚約していた
彼の顔と名前は
いくら考えても
思い出せなかった

幸い他のことは
問題なく覚えて
いたから
生活に困る
なんてことは
なかったけど……

自信なんて……
持てないよなあ

もう顔も思い出せない
彼だって……
結婚決めたとなん
あんな感じに
なっちゃったし

思い出せたら
変わるのかな……

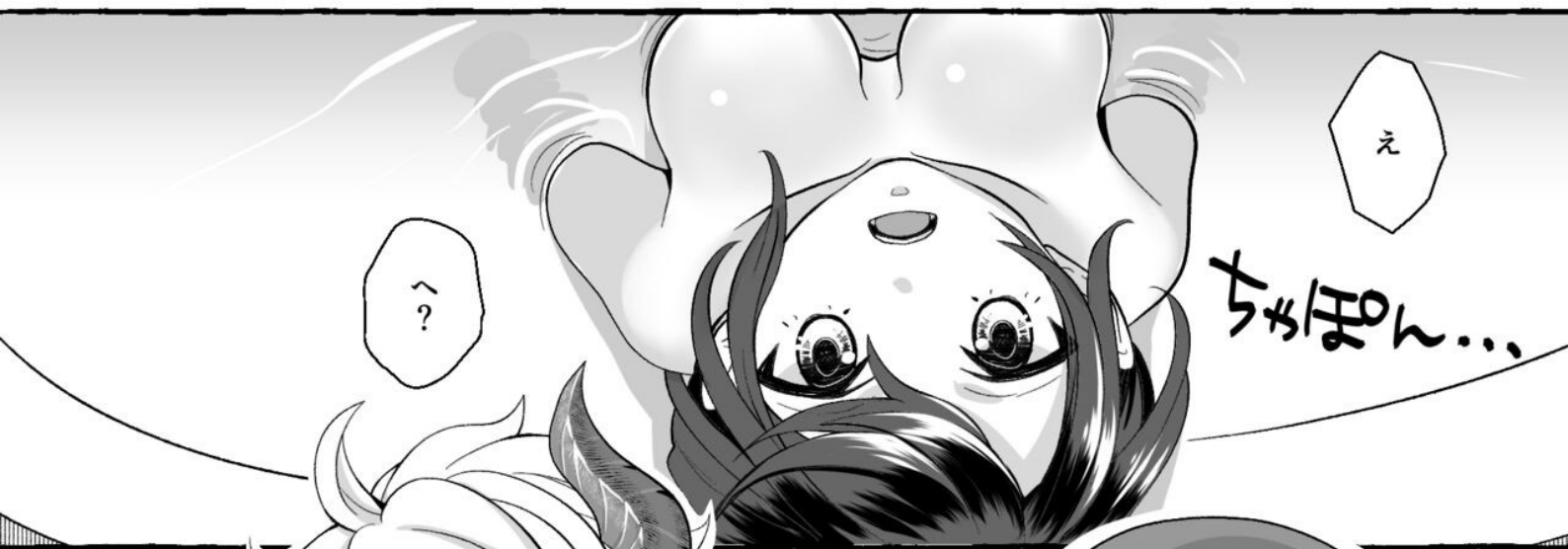
最後まででしたら
魔力的なあれこれで
思い出したり
したらいいのに……

ん？



ええ!?
ダメダメ!!!

それは
困るよお!!



え

ちかぽん...

へ?



ふふ

ちよっ!...っ

!?

だれっ



はじめまして
おねーさん！

やっぱり
生で見ると
可愛いねえ♡

ドキ
ドキ
ドキ

ホント…

ニコ♡

この世界に
呼んだ甲斐が
あったよ…

は、

ニコ♡

わたしを
呼んだって…
この子が!?

え？

ちょ…、
ちょっと待って！

そんな—

どうして
わたしを

だって

おねーさんが
欲しかったん
だもん♡

ちゅっ♡

そーだ！

自己紹介
しなきゃね

僕ニノ

フャーッ フャーッ

見て
わかるかなあ

おねーさんの
世界には
いなかったよね？

竜人：
ドラゴンだよ！

竜…

どう？
どう？

気に入って
くれた？



じゃあ
連れて帰って
いいよね？

おねーさんの
居場所は
ここじゃないでしょ

僕の家で
一緒に暮らそ！

バッ

チャッ



それにしても
ヒドイよね！

その上あつという間に
この領域に渡っちゃったせいで
全然見つけられないしさあ…

待つてたら渡ってきて
くれるかなーって
思ってたのに
全然来てくれないし

渡ってこないって
ことはさあ…

このまゝ全然
しおきいてくれない…

ここの悪魔と
ナカヨク
してるって
ことでしょー

—さすがに

何日もかけて
呼び落としたのに
おねーさんったら
全然違うところに
引つ張られて
行っちゃうしい

そんなこと
言われても…

嫉妬
しちゃうよね

キヤアッ

まー
最後までは
してないみたい
だから

許して
あげるけどお

やっ

やっぱりな

やめっ

ズルル

お仕置きは
大事だよねえ

カゾン

普段はさ
邪魔だから
しまっちゃうんだ
けどね♡

へっ

僕の尻尾
長くて
便利でしょー

ヴァルツ

ヴァレール！

あは♡



僕はさ
僕だけを見て
僕だけを
愛してくれる人間が
欲しかったんだ



おねーさんを見つけたのは偶然だったんだけどね



異界を覗いたときに
偶々おねーさんと
チャネルが
あつてさ

なのに
おねーさんったら
変な男と
結婚しようとしてるしー

すごく
僕好みで
覗くの
楽しかったなあ

ちよつと焦って
思つたより
記憶残つちやつた
んだけどね...!

おねーさん
事故つちやつて
その上
呪われちゃうしー

こういう呪いなら
可愛くて
大歓迎なんだ
けどね♡



お

あああつ

ナカ舐め…

こんな小さな子に
弄ばれるなんて
ダメすぎ…!!

まだ
だーめ♡

なん…でっ

ふふ

イケないの
不思議？

おねーさんは
僕が呼んだからね
少しはコントロール
できちゃうんだ♡

それに
ほら

気づいてた？

呪いが
またおねーさんを
かわいがろうと
してる♡

花酔いの呪いが
解けてないのは
わかってたけど、
こうして確認
できてよかったよ

やっぱりまだ
エッチして
なかったんだね♡

今なら
呪いのおかげで

おっぱい
触るだけでも

すごーく
気持ちよく
なれちゃうよ♡

何で
これだけで
こんな……っ

乳首
勃っちゃって
かあわい♡

なめ
ちゃえ♡







すごい
エッチな顔—♡

かわいい♡

じゃ♡



そろそろ
いーよね？

カチカチ

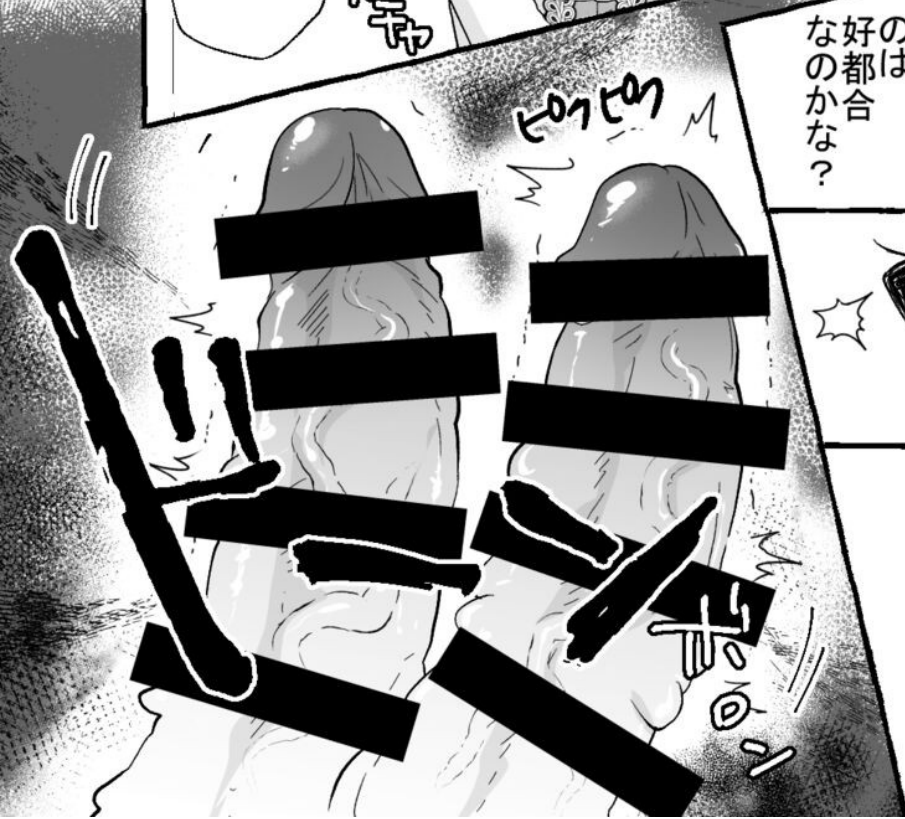
カチカチ

残念だけど
僕まだ
精通して
なくてね—

ま

ブブブ—

呪いが
解けない
のは
都合
の都合
かな？



え

あれえ？

へミペスって
知らない？

ほら！
僕竜だし

へあ…？

知ってて
当り前みたいに
言わないでほしい！

でも
おねーさん
釘付け♡

あは

はあっ

はっ♡

はあっ

おい

もう一本は
クリ擦る？
お尻にしようか？
どっちでも好きな…

はっ

これで
おねーさんの
おまんこ
ゴリゴリして
あげるねえ♡

あでっ

そこまでにしとけよ

ニーノ

はぎ

~~~~~

いったあ……!

グイ

ったく

ずいぶん  
支度に時間がかか  
ると思ったら

あっ

く

後でじっくり話を聞かせてもらうからな

クソジジイ

ちえー

!

これ…から  
するの？

悪いな

こんな状況だが  
予定は変えない  
方がいい

後回しにするだけ  
ああいうのが  
どんどん出てきそうだ

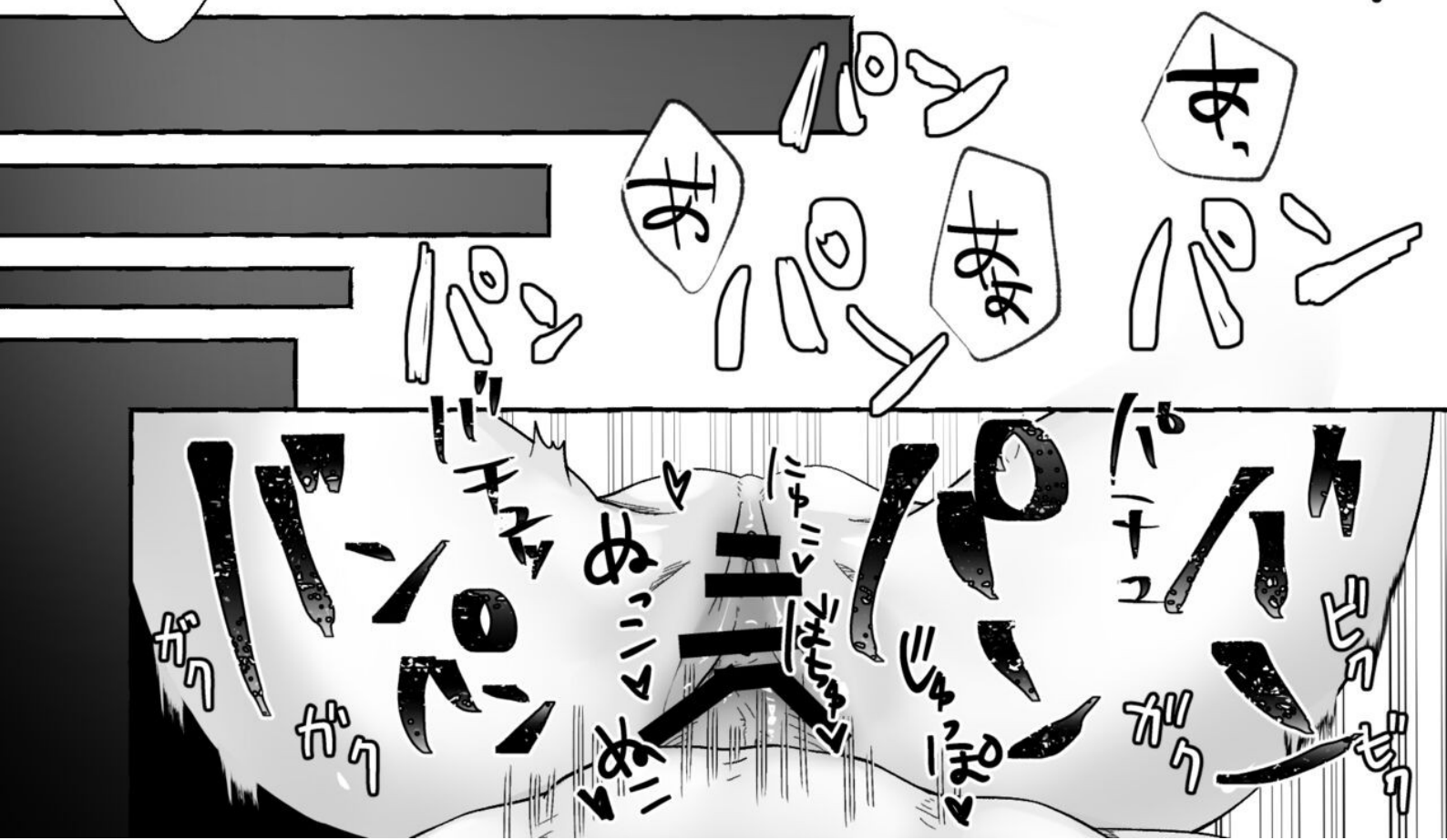
横から  
かつさらわれ  
ては堪らん…

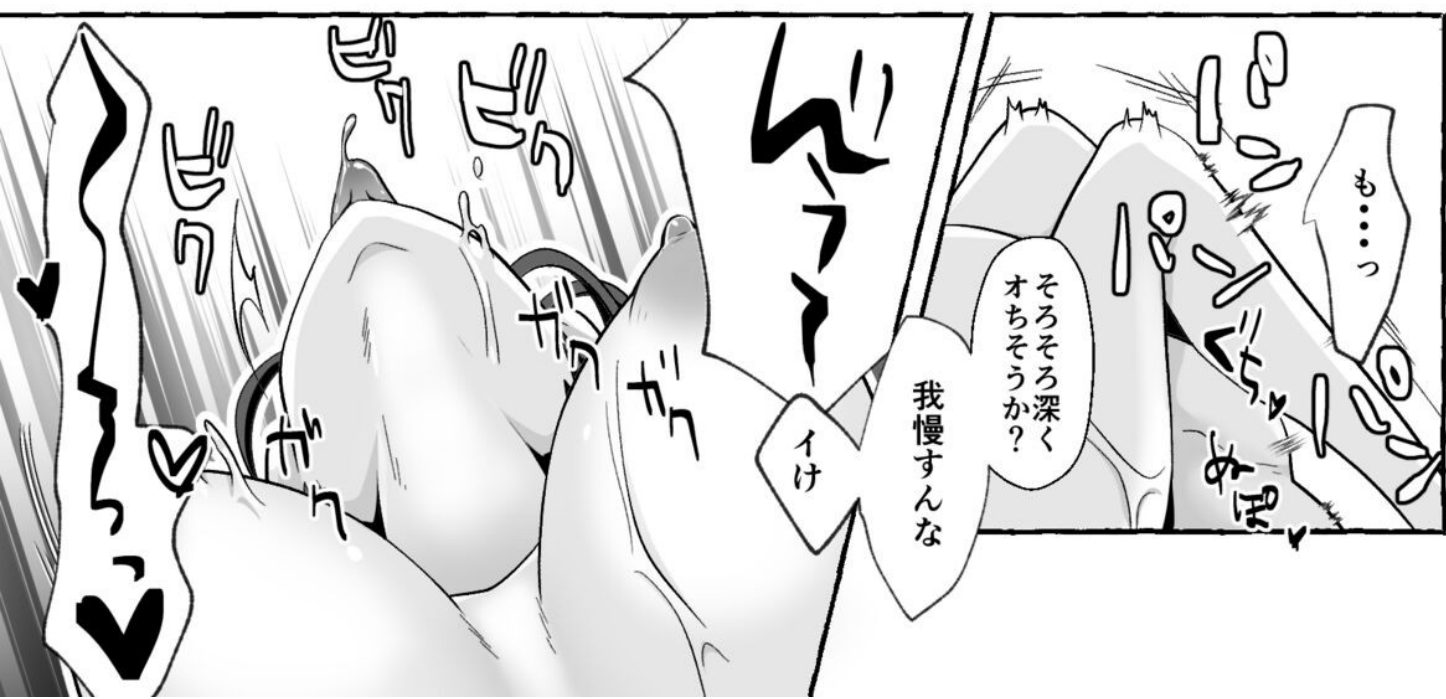
俺も  
もう待ちたく  
ない……



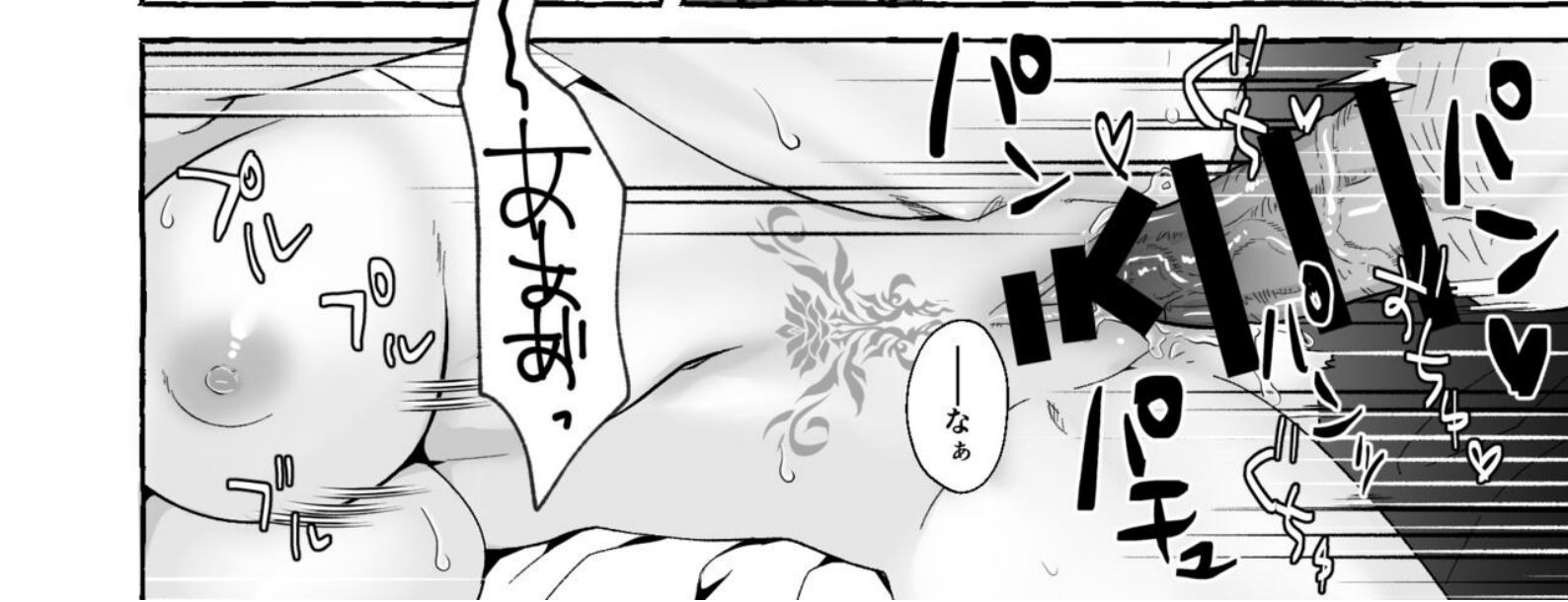




















な  
イチカ

もう全部捨てて  
俺のものに  
なればいい…

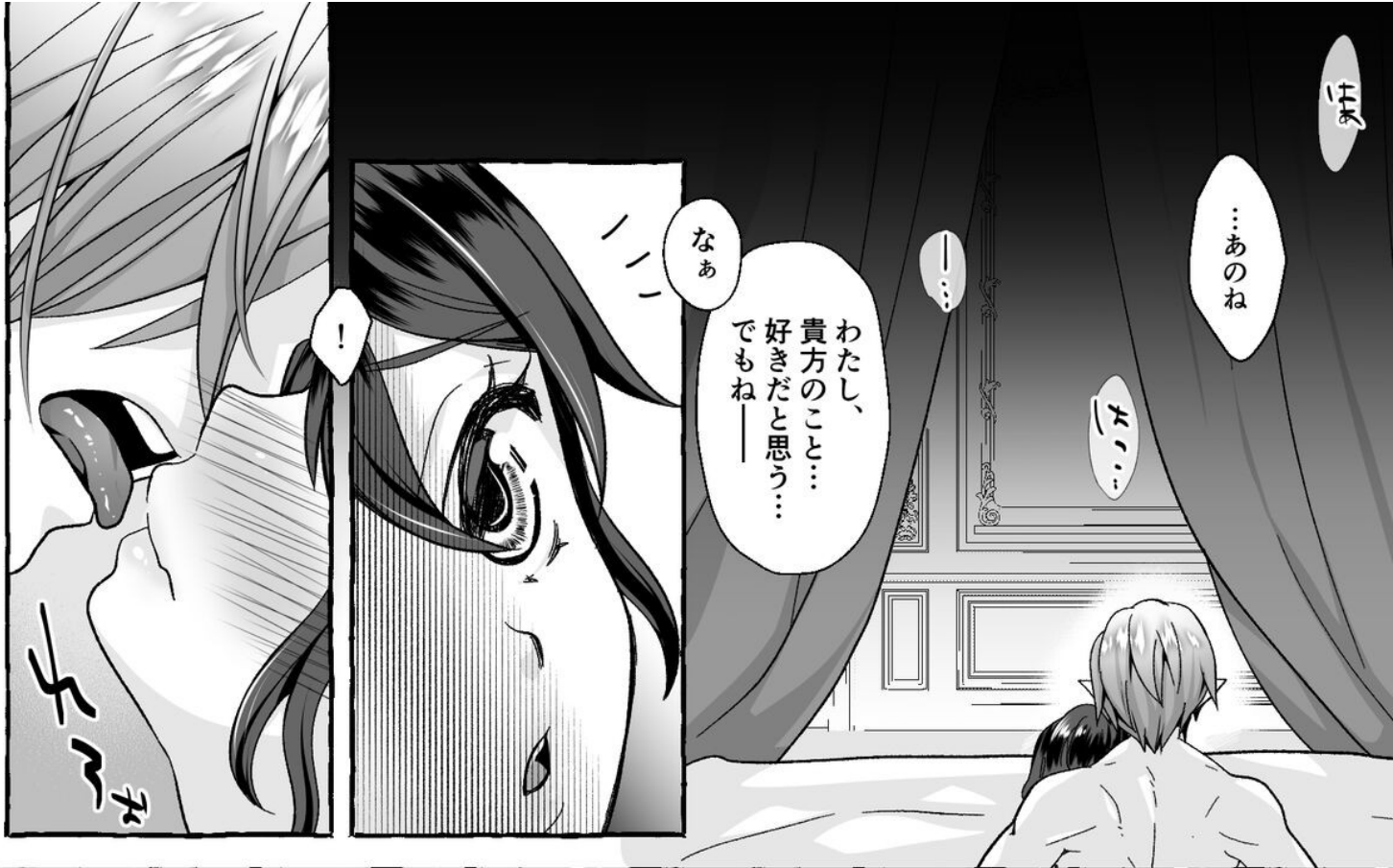
俺じゃ  
お前の信頼に  
足らないか？



おなか…  
熱い—

頭が  
ふわふわする





…あのね

はっ…

！…

なあ

わたし、  
貴方のこと…  
好きだと思っ  
てもね—



んあ



花になるって  
どういう事  
なんだろう—

わたしにそんな価値が  
本当にあるのかな？

何がお前を  
頑なにさせる…

どうしたら  
信じられる？

—本当にそんなもの  
があるなら…

どうしたら花になる  
事が出来るんだろう？

どうすれば  
ずっと傍に…

煩いな

お前が召喚に  
失敗したから  
悪いんだろ

僕が見つけた  
僕のおねーさん  
だったのにさあ

ちえつ

結局最後まで  
しちゃう  
なんてさあ…

フニッ  
イチカはもう  
俺に結び付いた

大体何で  
1ヶ月もお預け  
してたわけ？

思っただのかと  
思ったのに！

大体あいつは  
魔無しだろうが  
そんなに早く  
手を出せるか！

ええ！

ちよっつ  
待ってっ

おねーさん  
花酔いの呪い…  
というか祝福を  
受けてたでしょ？

だったら  
祝福の  
効果で

体に負荷  
なんか  
ないよお！！





—  
まて

なんだと

ピョッ  
。。。



うーわー  
知らなかったの？  
だから1ヶ月も  
我慢しちゃったの？

あつは♡

てつきり呪いを定着  
させるつもりなんだと  
勘違いしちゃったよ

実際定着しちゃった  
みたいだし♡

おねーさん  
かーいそー

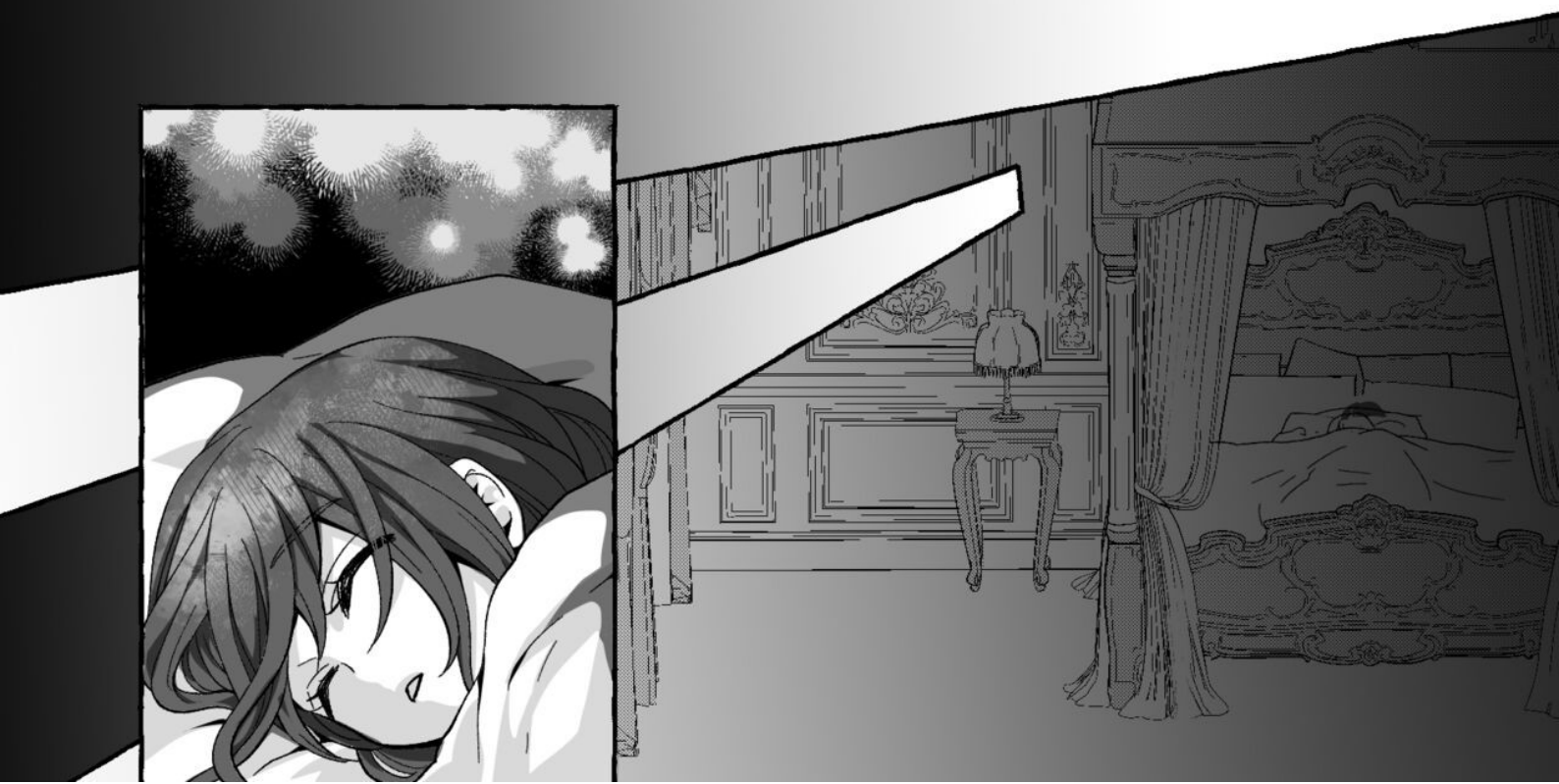
名前を失った  
おねーさんじゃ  
正式な儀式は  
できない

何が  
言いたい

その様子だと  
僕が削った  
記憶も戻って  
ないでしょ

それに

フワッ



さすがの僕でも  
こんな顔で寝てたら  
悪戯できないなあ…

眠森は今のトコ  
興味ないし…

そーかよ

かあわいい♡

あはは  
教えると思う？  
そんな大事なこと

おねーさんを  
僕のにする  
大切な切り札だよ？

！…  
なあ…  
ニーノ…  
何を…どれだけ  
引きはがした？

大体お前  
こいつをおねーさん  
だなんて読んでるが  
俺より年嵩だろうが

六百は過ぎてたろ

はあ！？

別にいいでしょ  
見た目に  
そぐえばさー

僕はさー

昼は  
思いつき  
甘やかしてもらって  
ふかふか  
おっぱい  
堪能してさー

夜はもー  
持てる全てで  
おねーさんを  
しゃぶりつくして  
そのギャップで  
メロメロに…

おねーさん♡  
おねーさん♡  
おねーさん♡





うわあ

別にヴァルに  
どー思われても  
いーもんねー

おねーさんが  
僕を意識して  
くれたらそれでさ

お前……  
本当……  
なんと言うか……  
気持ち悪いな……

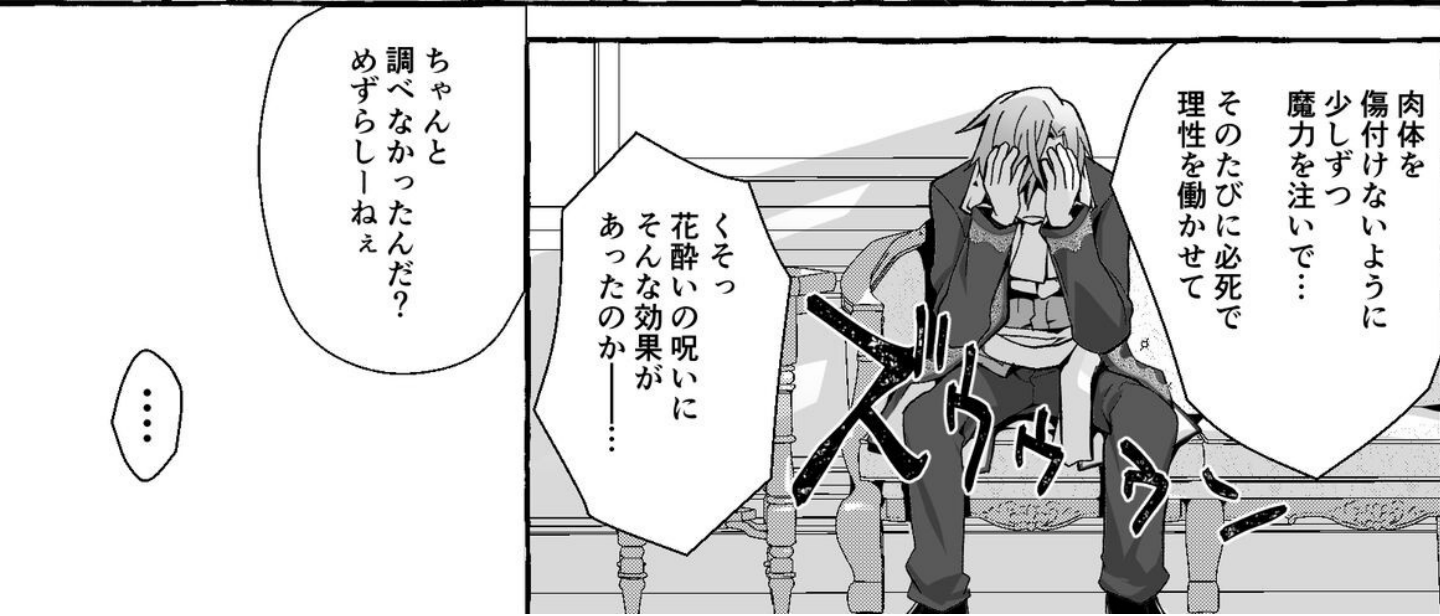
ドン引き……



……

お前がいくら  
こいつを思おうと  
渡さないからな

この1ヶ月  
俺がどれだけ  
我慢したか……



肉体を  
傷付けないように  
少しづつ  
魔力を注いで……  
そのたびに必死で  
理性を働かせて

くそっ  
花酔いの呪いに  
そんな効果が  
あったのか……

ちゃんと  
調べなかったんだ？  
めずらしーねえ

……

元々……

花やら渡り人やら  
俺には関係ない  
思ってたからな

こいつに  
出会ってからは  
それどころじゃ……

この一月の間  
こいつとの  
暮らしで得た癒しが  
どれほど  
俺を救ったか

いじらしくも  
役に立ちたいと  
俺の身の回りの  
世話を焼いたり……

得意としていた  
刺繍やレース編みで  
自分の食い扶持を  
稼ごうとまで  
するんだぞ……!

ふーん

ぶっちゃけ  
ないんじゃない？

で  
ぶっちゃけ  
好きなの？

好ましいとは……  
思っている

おっぱい  
おおきいし？

別にそれ  
目当てなんて  
ことは：

キラ

なっ

悪いとは  
言わんが！

あつはー♡  
だつて  
おねーさん

♡♡♡  
ヴァルは  
おっぱい  
好きだつてー

あつはは  
調子崩し過ぎ  
じゃない？

みんな

お

おいっ

たっ  
あ





ま、いーや  
今日のところは  
この辺で帰るよ！

おねーさん  
とも  
遊べたしね

あ  
それから  
大事なこと！

花酔いの首飾り、  
ちよつとバグって  
たでしょ？  
お陰で色々都合よく  
いろんな効果が  
切れてたんだけど：

祝福が叶ったら  
阻害されてた  
探知機能が復活  
しちゃったみたい

バサッ

なにせ最初に  
渡った場所  
だからね

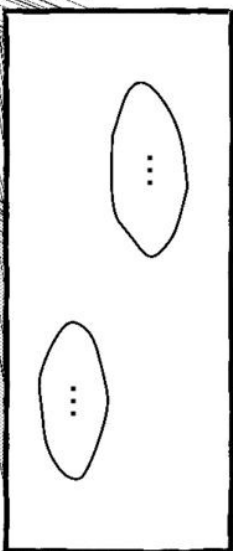
おねーさんと  
相性びつたりの  
人間がいるはず：

きつと今頃  
血眼だよね♡  
僕が迎えに  
来るまで  
ちやーんと  
守ってよね！



あー  
起きてるん  
だよな？

ゴリゴリ...



：

：

じゃね！  
またね！





う、

悪いな  
醜態を  
さらした…

はい

ううん

なんと言うか  
新鮮、だったよ  
仲も良さそうだし…

友達  
なんだ？



友人…  
というより  
腐れ縁だな

俺よりずっと  
長命なんだが  
精神が見た目の通り  
幼いんだ…  
度々碌でも無いことを  
しては俺を巻き込む…

だが…  
ああして偶に助言を  
くれたりな…  
悪い奴じゃない

お前を召喚した  
のもアイツだ—  
それでも、  
渡したくない…

ニーノはもちろん  
最初の転移先に  
だって…

だから…  
あいつから名前を、  
記憶を取り戻す事が  
出来たとしても…

それでも

俺の

俺の  
傍に居ろ…

わっ

わたし



このお腹の  
模様も  
消えてないし...

それに...  
わたし...  
今は愛とか恋とか  
そんな気には  
なれない...

俺には  
都合な  
くらいだな

ほら!  
さっき厄介な国に  
紐づいてる  
かもって...

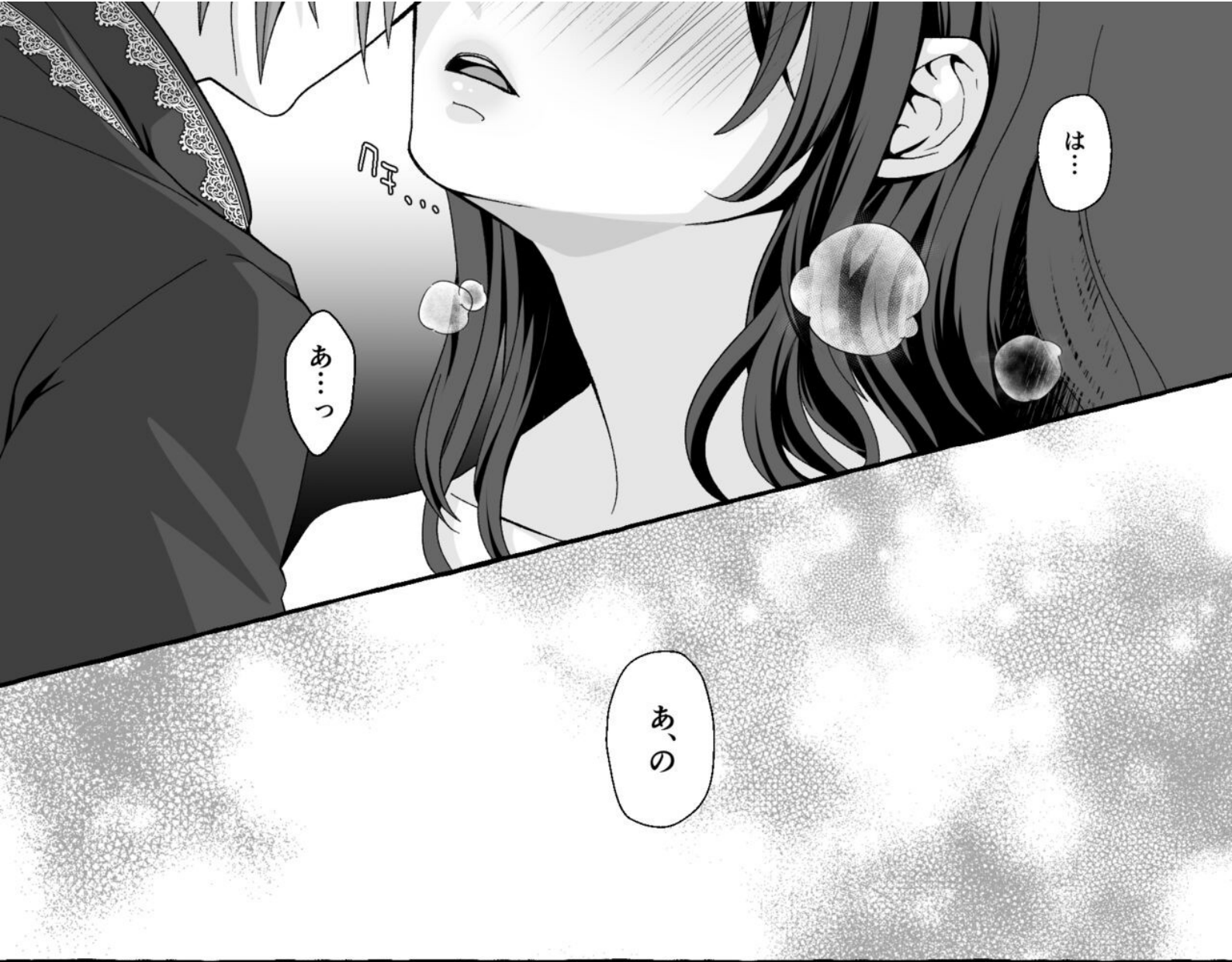
なあ、  
それでも俺は  
お前が欲しいと  
言ってるんだ

お前を支配下に  
置くことは容易い、  
だがそれじゃあ  
足りないんだ...

本当に...

お前以上に  
厄介な人間なんて  
存在しないだろ

へん...



は…

ハァ…

あ…っ

あ、の

じゃあ…

今更、だけど  
ケンゼンな  
お付き合いから…





# 読まなくて大丈夫な設定



## イチカ(伊千花)

プロポーズを受け入れた途端に  
モラハラ野郎に変貌した婚約者がいる  
そいつが常日頃からマウント取って  
くるから若干メンタルやられ気味の上  
軽く人間不信気味

普通に事務員として働いているが  
刺繍とかレース編みとか針仕事が好き



## ヴァレール

魔族の青年  
結構ひねくれた性格のカッコつけ野郎  
それなりに上位に位置していたからか  
寄ってくる有象無象が嫌い

遅れてきた思春期かもしれない  
実はまだイチカを愛している  
というわけではない…



## ニーノ

竜族のお坊ちゃん  
末っ子で甘やかされてるけど  
能力値も高いので特に文句も出ない

ドSの合法ショタ  
自分の見た目も最大限に利用してる

## アレクシス

本編で名前も出なかったけど  
イチカと本来一番相性がいいのは  
この男である  
11人側室がいるけど正妻はまだいない

因みにイチカが花酔いの首飾りを  
着けられたのはこいつがメッチャ巨根な  
せいで初夜が大変な事にならない様にと  
メイドさんが気を利かせたためだった…



## 婚約者

普通に伊千花を愛しているけど  
尊敬する職場の先輩に『結婚は最初が肝心』と  
アドバイスもらった結果モラハラくそ野郎に  
進化を遂げた残念な奴

因みにその先輩は仕事はできるけど素人童貞である

花の力は花自体が幸福で無ければ  
発揮されることはない  
その為しっかり愛情を育まなければいけない

悪い扱いをして不幸ならば逆に花の番は  
力を失う事になる

あまり知られていないため渡り人を捕らえて  
売買する奴がいるとかいないとか…

